

役犬原の湧泉

阿蘇カルデラ地域には、新鮮な天然の湧水が流れる湧泉がたくさんあります。これは、この地域の被圧帯水層という不透水性の層に挟まれた透水性の地層によるものです。帯水層水に強い圧力がかかることで、地表に水が噴出し、天然の湧泉を作り出します。何世紀にもわたって地元の人々はこの澄んだおいしい水を飲用水として、また農業用水として利用してきました。

火焚き神事

霜神社は、古代の火の儀式である火焚き神事が行われることで知られています。8月19日から10月16日まで行われるこの儀式は、もし火を焚いて暖めないと水田に霜を降らせ稲を台無しにしてしまう鬼八（きはち）という名の怨霊を鎮めると言われています。社殿に59日間とどまって火を焚き続け、霊に祈りを捧げる伝統のために、以前は若い女性選ばれていました。火を焚く伝統は今日でも続いているますが、現在では地元の人々が交代で火を焚いています。